



# 季刊 すまいる



## 梅

春を告げる花として平安期から愛でられてきた梅。「東風(こち)吹かば にほひおこせよ 梅の花 主(あるじ)なしとて 春を忘るな」の歌でも知られる菅原道真ゆかりの北野天満宮、また江戸期の絵師、尾形光琳の屏風「紅白梅園(国宝)」にちなむ「光琳の梅」と呼ばれる紅梅が咲く下鴨神社など、京都では2月中旬から3月中旬にかけて多くの名所で見頃を迎える。



## 千本鳥居 (伏見稲荷大社)

「お稲荷さん」として親しまれる全国の稲荷神社の総本宮、伏見稲荷大社。鮮やかな朱色の鳥居が延々と連なる千本鳥居は圧巻。崇敬者が祈りと感謝の念を込めて鳥居を奉納したのは江戸時代からとされ、今日その姿をかたち作った。鳥居は稲荷山全体では1万基ほど納められている。近年、海外から訪れる人も多い。

## 八つ橋

京都を代表する和菓子の一つで土産物の定番。米粉に砂糖、ニッキなどを合わせて練り上げた生地を薄く延ばし、短冊状に切り、曲線をつけて堅焼きしたもの。焼かない「生八つ橋」や二つ折りにして小豆餡をはさんだ「餡入り生八つ橋」もあり、生地に抹茶やゴマを混ぜたもの、餡に果物やチョコレートをを用いるものなど、バラエティに富んでいる。



## 千枚漬

幕末、宮中の料理方だった大黒屋藤三郎が、京野菜の聖護院かぶらを薄くそぎ、扇状に塩漬けし、昆布、酢、みりんで味付けしたのが始まりとされる。今では、すぐき、しば漬けとともに京都の三大漬物にあげられ、冬を代表する漬物。店によつてそれぞれに工夫を凝らした繊細な味を楽しめる。



## 大難之儀

(平安神宮 2月3日)

平安神宮の節分祭の行事。平安時代の宮中で行われていた祓いの行事を、その作法や祭具、衣裳まで忠実に再現。黄金の四つ目の面をつけ、唐風の衣裳をまとった方相氏(ほうそうし)が矛と盾を打ち鳴らしながら「鬼やろう」と大声で発声し、邪鬼を祓う。「大難之儀」の後、茂山社中扮するユーモラスな「鬼の舞」があり、豆まきが行われる。



## 年頭雑感

医療法人啓信会 理事長

中野 博美

「京都きづ川病院の開設時に地域の要望をふまえて宣言したこと」

- ① 病院が社会資源であることを認識し、運営にさいし地域の意見を幅広く反映させる。そのため、関係行政機関、住民代表、地域医師会、学識経験者により「病院運営協議会」を開催する。
- ② 地域の中核病院として、診療機能の充実、地元医療機関との連携をすすめる。また地域における医療文化情報の発信基地の役割を自覚する。
- ③ 地域医療機関の責務として、地元住民・地元企業職員の健康管理を重視する。即ち成人病検診・ドック機能・出張健診の充実を目指す。生活習慣病・成人病の予防、介護治療に努める。
- ④ 地域の変化、交通アクセス(新名神・第2京阪道路・京滋バイパス・京奈和道路)、学研都市や同志社大学等、公共施設設置による現状をふまえ、より広域的な医療・保健機能の充実を強化する。

右記の宣言をしてから35年が経ちました。その間、京都きづ川病院は不断に診療機能の向上を図り、また関連介護系施設などを開所して現在に至りました。

さて、いま改めて当時のそれぞれの宣言内容のその後の妥当性はどうかだったのでしょうか？

- ①では、病院が社会資源であることを述べ、当病院が地域社会と共に行動することの絆である「病院運営協議会」を規定しましたが、当協議会は毎年欠かさず開催され、当病院からは年度ごとの実績と次年度実施計画が報告されています。また行政からは病院への要望や救急関係の報告がなされています。今後も形骸化することなく継続して参ります。

②は病院の本身である診療内容に関する点であります。開設当初地域から要請を受けた救急救命医療を始め急性期医療は、救急搬入を含め着実に実績を高めています。ポスト急性期を担当するリハビリテーションなどの回復期医療は、要員も100人近くになり益々充実してまいりました。更に慢性期医療から介護系部門に関しては、ここ15年ほど相当数を開設し多くの地域で療養のバックアップができる体制になっています。訪問診療や訪問看護も今後ますます重要性になる分野です。更なる充実を考えております。私共のケアシステムでは山城北医療圏でのすべてのフェイズの予防・治療・介護を提供できる体制になっています。

ます。また健康情報発信基地として公開講演会開催を年に複数回行っております。

- ③での地域社会の健康度向上につきましては、着実に健診・ドック提供をしておりますし、地域に対しての健康啓蒙活動としての講演も多数行っています。

④の交通網や公共施設の変化に関して、漸く実現しつつあり地域社会の発展に資すると考えられる交通網の機能統合が、予定したように京都きづ川病院へのアクセス向上に資すると考えております。更に城陽市に関しては、部分的に土地用途変更もあり人口は増加の気配が感じられます。以上、概ね開設時の宣言内容は祖語なく展開しており、当時の先見性に問題はなかったようです。しかし今後の医療制度(社会保障制度)は、経済低迷の影響を受け財政再建の大波に翻弄され益々困窮の度合いを深めるようですから、今後も医療内容の質の充実と効率化を合わせて考えていかなければなりません。更に、京都きづ川病院としましては本館の更新を計画する時期となっております。年頭にあたり、益々性根を据えていかねばならぬと覚悟を新たにしているところです！



## 新年のごあいさつ

医療法人啓信会

京都きつ川病院

院長

中川 雅生

新年明けましておめでとうございます。本年が明るく、希望に満ちた幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

皆様、今年はどのような初夢をみられましたでしょうか。一般に初夢は1月1日から2日にかけてみる夢とされ、その年の吉凶を占うと言われてきました。初夢に見ると縁起がいいとされるのは、1富士、2鷹、3茄子(なすび)、さらに4扇(おうぎ)、5煙草(たばこ)、6座頭と続くのだそうです。しかし、富士はいいにしろ、鷹や茄子、扇はあまり夢の中のイメージとしてわかないでしょうし、若い方は座頭なんていう言葉すらご存知ないかもしれません。今ではこのような夢を見る可能性は少ないのでしょうか。

筆者が子どもの頃、電話で相手の顔が見える、人が通れば街灯が勝手に灯る、日本語を話せば外国語に翻訳してくれる、いずれそういった世の中になるよと夢物語のように語られていたことが現実のものとなっています。また、相手がないとできなかつた囲碁や将棋といったゲームもゲーム機器やパソコンが相手してくれまじし、壁を相手にピンポンの練習をしていたのが、卓球ロ

ボットが相手をしてくれるような時代になってきました。匂いを発するテレビや接触事故を起こさない自動車、それだけではなく、自動運転で走るまさしく「自動車」が実用化されようとしています。まるで人気アニメ「ドラえもん」の世界になってきました。これらはほとんどがコンピューターや人工知能(AI)の働きによるもので、医療においても診断や治療に応用されています。記録された心電図を自動解析(診断)する心電計はもうずいぶん以前から使われていますし、最近では血液検査の結果から病気を診断する機能も開発されつつあります。超音波やレントゲンを用いる検査は画像を立体的に表示してくれるようになっていきます。本当に技術の進歩には目を見張るものがあります。

先般、囲碁の対戦で人工知能が世界最強とされたプロの棋士に勝ちました。ついに人工知能が人の知能を負かしてしまったのです。子どもの頃にワクワクしながら読んだ手塚治虫さんの漫画「鉄腕アトム」の世界のように、人工知能を搭載されたロボットが多く作られ、人ができないことを肩代わりしてくれる日も遠くないと思います。そし

て、ロボットが人に指図するような日もくるかもしれませんが、人工知能やロボットには感情、気持ちがありませんので、それは大変困りますね。

技術の進歩から受ける恩恵は多大なものがあります。それを活かすのは人の知恵であり、人にかできないことです。京都きつ川病院は、最新の医療技術や機器を駆使しながら、人とのふれあい、やさしさを忘れない病院として地域の皆様に貢献していきたいと思えます。本年も京都きつ川病院を何卒よろしく願います。

# 地域とともに歩む 憩いの場をめざして

リエゾン宇治おおくぼ **オープン**

すまいる  
レポート

啓信会グループ  
関連施設



「とにかく“笑顔”を大切にしています。認知症の方でも、表情豊かにお話すると伝わりやすいんですよ」

小林 三江子  
グループホーム管理者



「利用者様には、親しいなかにも適度な緊張感をもった言葉のチョイスを心がけています」

木村 卓史  
小規模多機能ホーム管理者



「他の事業所のケアマネさんとも交流し、よい刺激をもらっています。利用者様に楽しんでもらうには、“自分も楽しむ”がモットーです」

岡井 千恵  
センター長・ケアプランセンター管理者

2016年10月1日、啓信会では宇治市に新たに介護事業施設「リエゾン宇治おおくぼ」を開設しました。地域密着型の介護サービスを中心に、多目的の交流スペースも備えて、地域の方々に親しまれる施設を目指しています。

## ゆとりのスペースで 安心した暮らしを

小規模多機能ホーム、グループホーム、ケアプランセンターの3つの事業所が設置された「リエゾン宇治おおくぼ」。地域密着型の事業所が少ない南宇治圏域において、開設前から注目度も高く、オープン前の内覧会には一般の方も多数来所され、9月17日の開所式には、宇治市長をはじめ70名以上の関係者にお越しいただきました。今年4月にはデイサービスもオープン予定です。

自然豊かな場所にあるため、施設内は各階ともに日当たりがよいのが自慢です。広々としたスペースを利用し、グループホームは2階ワンフロアに計18名の入居が可能で、ご入居者同士のコミュニケーションの幅も広がりそうです。

1階には「通い」「訪問」「泊

まり」を組み合わせて利用できる小規模多機能ホームがあり、今後利用される方のさまざまなニーズに柔軟に対応し、個別のサービスを提供していく考えです。ケアプランセンターでは、内外との連携を強化し、介護サービスの利用をスムーズにサポートできる体制を整えています。

## 地域の新たな交流スペース 地域交流センター

1階には「地域交流センター」を併設しています。介護保険の利用者だけでなく、一般の方も利用できる多目的な交流スペース。宇治市の地域包括支援センターが主となっている認知症予防や介護予防の運動などのサークル活動に利用したり、地域の方が公民館のような役割に使うなどを予定しています。さらに、いろいろな活用方法ができる場として宇治市からも期待されています。

ご利用者、ご家族が安心して暮らせる施設であり、多くの方々が集まる交流の拠点として、地域社会に貢献できるよう職員一同取り組んでまいります。



もともと茶畑だった土地には、地主さんが大切に育ててきたみかんの木を寄贈いただきました。地主さん曰く「日本一美味しい」みかんの収穫が楽しみです



見学者からの注目度が高い2階の天窗



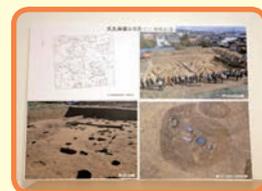
グループホームの広々としたフロア。デザイン性にもこだわった使いやすい家具類も好評



女性の入居が多いグループホームでは、手芸など家庭的な手仕事が行われています



カラオケを楽しむ利用者とスタッフ



100㎡以上ある地域交流センター。建設前の調査で発掘された古墳時代から中世にかけての様々な遺跡の写真が飾られています

### リエゾン宇治おおくぼ 概要

- 小規模多機能ホーム  
登録定員25名
- グループホーム  
定員18名(2ユニット)
- ケアプランセンター  
ケアマネジャー 2名

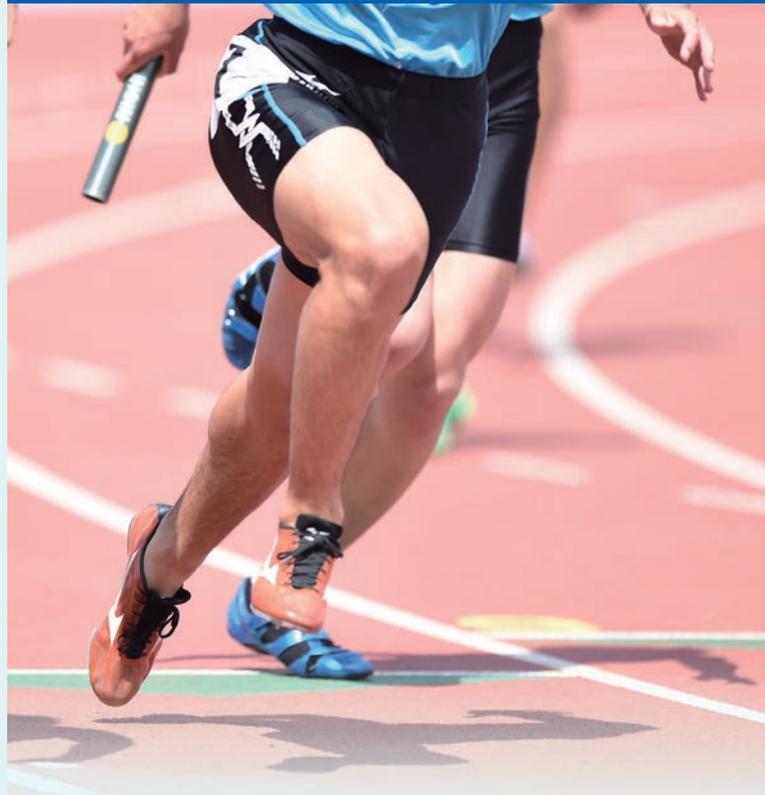
〒611-0033  
宇治市大久保町山ノ内55-2  
TEL 0774-29-9023



随時見学を受け付けております。  
お気軽にお問い合わせください

# 2016年10月、 スポーツ整形外科 外来を開始

スポーツによる疾患に幅広く対応します



## 診療日時

月曜日、木曜日 8時30分～11時45分受付

## 診療内容

競技レベル、年齢にかかわらず、各種スポーツによる外傷、障害の診療を行います。特にラグビー、サッカーなどのコンタクト系スポーツやバスケットボールなどによる膝、足関節は専門的な診療が可能。手術は、低侵襲で精度も高い関節鏡視下手術を基本としています。

## Doctorに聞きました



担当医  
**南 銀次郎** (整形外科部長)

大阪府出身。京都府立医科大学卒業。大学時代は6年間ラグビー部に所属。前職では数々のオリンピック選手やJリーガーの治療を行うスポーツ整形外科医・原邦夫先生の薫陶を受けトップアスリートの診療経験を重ねた。スポーツ整形疾患、主に膝関節のスペシャリスト。

### 整形外科との違いは？

学生さんで競技スポーツをされている方などは、治療にタイムリミットがありますよね。そこは一般の整形外科と違うところ。復帰から逆算して治療していく必要があります。ただそれが今後の本人のためにならないと判断したら、心苦しい時もありますが、早期の無理な復帰を断念することを勧めなくてはなりません。

### 治療において心がけておられることは

自分の選択肢を押しつけるのではなく、患者さんが求めていることを大切に、その思いにできるだけ近づくことを心がけています。そしてその方の目標に対して、最大限の医療を提供すること、手術、リハビリまで治療の機会を必要に応じてセッティングすることを常に考えています。

### マラソンブームですが、市民ランナーに アドバイスをお願いします

ケガをしないためにはまず環境と装備が重要。なかでも靴選びは大切です。また、フォームによって、障害が起こっていることもありますので、自己流のフォームが影響している場合は見直しも必要です。基本的なことでは、寒い時期はストレッチなどじゅうぶんな準備運動、暑い時期は脱水に気をつけてください。

### 地域のみなさんへ一言

スポーツに関連した症状にお悩みの方は一度ご相談ください。トップアスリートの治療経験を通じて学んだことを地域の患者さんに少しでも提供できたら嬉しいです。なるべく手術侵襲が少ない関節鏡下の手術も行うことで、競技復帰に早く近づけるよう努力します。

楽しんで健康に!

2016年京都きづ川病院 文化月間行事

# 健康まつりを開催しました



楽しみながら健康を考える機会を、と毎年京都きづ川病院で行っている「健康まつり」。昨年もさわやかな秋晴れの10月30日、職員一同と地域のみなさんが協力し、さまざまな趣向をこらした手づくりのイベントを開催しました。

## 健康相談・健康測定



血管年齢・骨密度・脳年齢・肌年齢・血圧の測定ができる健康測定コーナーと、お薬・レントゲン・介護・栄養の相談コーナーは順番待ちの大人気



画面をタッチして脳年齢を測定。「測定できる貴重な機会」と好評



血管年齢測定中



腰痛・肩こり教室。セラバンドを使って皆で体を動かしました

## 子どもコーナー



お菓子を薬に見立てて薬剤師の仕事体験。看護師体験コーナーもありました

でんでん太鼓、万華鏡など、少し懐かしいおもちゃを手づくり体験



城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」も駆けつけてくれました

## 模擬店・喫茶



たこ焼きづくりに真剣そのものの職員たち

味も絶品。ベビーカステラ



手づくりの飾り付けも自慢の喫茶コーナー

## 出張五里五里市

JA京都やましろ 農産物直売所城陽店



新鮮野菜が大人気



## 城陽警察署による子ども交通教室



白バイ・パトカーに乗っての記念撮影

警察官によるパレニアートも

## 合唱コンサート

西城陽高等学校 コーラス部



明るくさわやかなうたごえに入院中の方々も耳を傾けました

職員一同で準備、運営に取り組みました。300名以上の方々にお越しいただき楽しい一日となりました。ありがとうございました。



病院内の行事や予定などのお知らせです。  
また、病院のホームページでは、最新の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

啓信会

ウェブ検索

<http://kyoto-keishinkai.or.jp>



京都きづ川病院

院長 中川 雅生  
TEL.0774-54-1111 FAX.0774-54-1118



啓信会グループ

理事長 中野 博美

医療法人啓信会 介護老人保健施設 萌木の村

< 城陽市寺田奥山1-6 >  
施設長 大隅 喜代志  
TEL .0774-52-0011  
FAX .0774-52-0701

医療法人啓信会 介護老人保健施設 ひしの里

< 久世郡久御山町佐古内屋敷81-1 >  
施設長 横田 敬  
TEL .0774-43-2626  
FAX .0774-43-2627

医療法人 啓信会 きづ川クリニック

< 城陽市平川西六反44 >  
院長 青谷 裕文  
TEL .0774-54-1113  
FAX .0774-54-1115

関連施設

- 京都四条診療所
- 四条健康管理センター

在宅サービス

- 訪問看護ステーション きづ川はろー
- ヘルパーステーション 萌木の村 21
- ヘルパーステーション リエゾン大津
- ヘルパーステーション リエゾン大久保
- ヘルパーステーション リエゾン四条
- ヘルパーステーション リエゾン健康村
- ヘルパーステーション リエゾン羽束師
- デイサービスセンター リエゾン健康村
- デイサービスセンター リエゾン久御山ひしの里
- デイサービスセンター リエゾン羽束師
- 認知症対応型デイサービスセンター リエゾン 萌木の村
- 認知症対応型デイサービスセンター リエゾン久御山ひしの里
- 介護予防デイサービスセンター リエゾン 萌木の村
- 介護予防デイサービスセンター リエゾン宇治
- 居宅介護支援事業所 リエゾン大津
- 居宅介護支援センター 萌木の村
- 居宅介護支援センター リエゾン四条
- ケアプランセンター リエゾン健康村
- ケアプランセンター リエゾン久御山ひしの里
- ケアプランセンター リエゾン羽束師

- ケアプランセンター リエゾン宇治おおくぼ
- 城陽市在宅介護支援センター 萌木の村

地域密着型サービス

- 小規模多機能ホーム リエゾン萌木の村
- 小規模多機能ホーム リエゾン健康村
- 小規模多機能ホーム リエゾン久御山ひしの里
- 小規模多機能ホーム リエゾン羽束師
- 小規模多機能ホーム リエゾン宇治おおくぼ
- グループホーム リエゾン萌木の村
- グループホーム リエゾンくみやま
- グループホーム リエゾン健康村
- グループホーム リエゾン羽束師
- グループホーム リエゾン宇治おおくぼ

教育部門

- ケアスクールリエゾン 大久保校
- ケアスクールリエゾン 大津校



医療法人

啓信会

京都きづ川病院